

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月27日

事業所名 KID ACADEMY SPORTS 防府校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		訓練室・居室・クールダウン部屋等分けている。	構造上、仕方がない部分があるが、居室での学習と遊びの環境設定が曖昧なので、今後検討していく。
	2 職員の配置数は適切である	2	3	法的には10人に2人の配置となっているため、適切な配置数になっている。	送迎時間が被ってしまうことから、送迎に職員が回ってしまい、先に来所する児童に対して手厚く療育ができていない部分もあるので、今後運転職員や児童指導員等増やしていくことを検討する。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	施設が2階の為、階段があるが、手すりや滑り止めを設置している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	ホームページに公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	年1回以上コンサルティングの方を交えてミーティングしている。	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			もっとたくさんの研修が受けられるようにしていく。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	スケジュール・グループ分け、手順書等視覚支援を用いている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		運動活動も基本的には2週間ごとに行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	活動グループによって職員の配置を行い。土曜日や長期休暇時の対応では更に細かく配置している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	連絡事項等の確認を行ったり、気になったこと等を伝えるようにしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児童発達支援管理責任者が参加している。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		支援級や支援学校の児童は先生との情報共有ができています。	下校時間等は保護者から写真を送っていたり、利用申し込み時に直接入力してもらうようになっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3			看護師の配置がないため、現状は難しく、受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	相談事業所とは情報共有をしている。	コロナ関係で訪問ができていないが、今後検討していく。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2			現在までに、卒業生がいないが、その時になれば情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	研修がある時には参加している。		なかなか発達支援センターの方と交流がないが、今後研修に積極的に参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	今年度、地域のサッカークラブとの交流を行った。		コロナも落ち着いたので、今後もっと交流の場を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	児童発達支援管理責任者が2ヶ月に1回参加している。		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5			ペアレント・トレーニングは行っていないが、相談等があればその都度対応をしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	契約時に児童発達支援管理責任者が行っている。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		電話や希望があれば面談を行っている。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5			コロナ関係で難しいが、落ち着いたら今後検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		児童発達支援管理責任者・管理者に報告し、話し合いを行っている。その後結果を保護者に改善策を伝えている。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3			解放はないが、その都度LINE等で写真や動画等を送っている。
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4			コロナが落ち着いたら今後検討する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			マニュアルはあるが、保護者に周知できていないと思うので、今後対応していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		消火器の使い方を児童に実践、避難梯子は職員のみが実践している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		医師の指示書を頂いてはいるが、保護者に確認をし、対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	4		ヒヤリハットがないので、今後作成していく。